

鹿児島県感染症情報

2022年 第16週報 (4月18日~4月24日)

発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症は、4月24日時点での届出総数は60408例です。県内の新規感染者は、第15週（4488例）、第16週（5206例）と、大型連休を目前に増加傾向が続いています。感染拡大防止のためにも本誌の2頁下部のことがらに十分留意してください。さて、ウイルスや細菌等の微生物は、土、森、動植物の体内や表皮、川、湖沼、海、空气中、そして、人の体内や表皮とあらゆる場所に棲息しています。

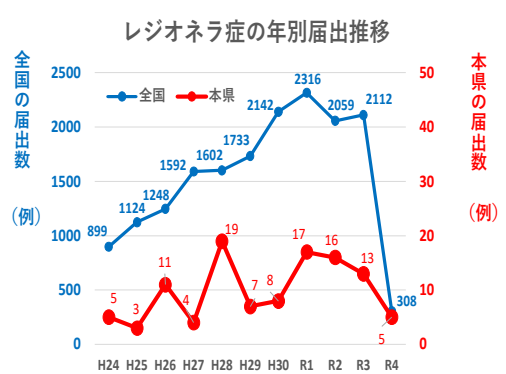
右表には地球における植物、動物、微生物の生物量の推定値を示してあります。現在の地球において微生物の総生物量は、植物、動物よりも大きく、極限の環境下でも生存できることが確認されています。例えば、上空10000m、深海6500m（約650気圧）、-20℃（増殖可能）、至適温度が80℃以上（超好熱菌と総称、122℃が生育限界温度）等です。

生物量 [総体重]	陸上・海洋生物圏	地下生物圏 <small>地底と海底下(どちらも深55km) 生物生存可能な温度の上限が122℃で、 この到達する深さが5kmであることから</small>
植物	1兆~2兆トン	0
動物 (人間)	<100億トン (3.5億トン)	0
微生物	3000億トン	3兆~5兆トン

資料：長沼 毅 著「世界をやりなおしても生命は生まれるか？」より

新型コロナウイルス検査で脚光を浴びた「PCR検査」ですが、前出の超好熱菌を用いることで遺伝子の連続反応が可能となり、検出時間が大幅に短縮されました。この超好熱菌、鹿児島郡十島村の硫気抗からも良質な超好熱菌が採取されているといわれています。

レジオネラ症は夏と秋に多く、冬に少ないという季節性が見られます。本症の起因菌であるレジオネラ属菌は、冷却塔、加湿器、給湯設備、循環式浴槽などの人工環境においてアメーバに寄生する形で増殖します。高圧洗浄機による感染例もあり、土木・採掘・建設業、園芸作業従事者も粉塵による感染リスクが高いといえます。



令和4年の本県におけるレジオネラ症の届出は第16週時点で5例となりました。国立感染症研究所によると、新型コロナウイルス感染症の流行以降、レジオネラ症の届出は約10%減少し、侵襲性肺炎球菌感染症はより大きく減少したと分析しています。ただし、レジオネラ症のリスク因子として年齢（50歳以上）が指摘されていることから、高齢化社会を踏まえ今後の動向には注意が必要です。

レジオネラ症防止対策としては、①水の消毒を行い、微生物培養あるいは迅速検査等で確認する。②浴槽や各種タンクの内面を清掃する。③防塵マスクを着用し作業を行う。等々が大切です。

第16週の定点報告疾患の総報告数をみると、第12週以降、5週連続で流行発生警報域及び流行発生注意報域の疾患はありませんでした。手足口病と突発性発しんは4週連続で増加しました。

☆一～五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

※ 第17週報、第18週は合併号で5/13（金）発行予定です。

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核2例（肺結核2例）
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	レジオネラ症1例
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症1例、梅毒1例、破傷風1例 追加侵襲性肺炎球菌感染症1例：第14週、梅毒1例：第14週
新型コロナウイルス等感染症	新型コロナウイルス感染症5206例

☆定点報告疾患の発生状況

- ・ 今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点91、小児科定点53です。（通常より各1減）
- ・ 第16週の定点把握対象疾患の総報告数は435人で、前週より94人多い報告数でした（4頁参照）。
- ・ **流行発生警報**の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所 該当なし
- ・ **流行発生注意報**の基準値以上の保健所 該当なし

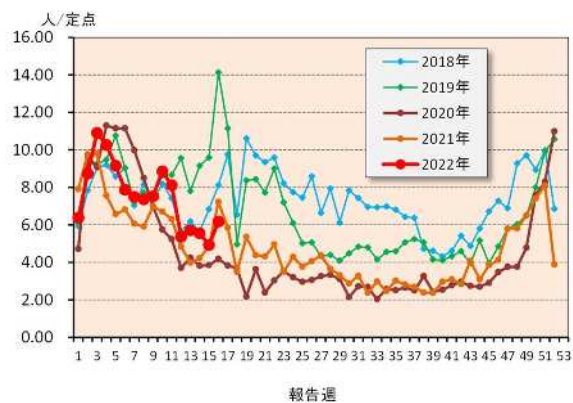
☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第16週の感染性胃腸炎の報告数は327人で、前週より71人多く、定点当たりの報告数は6.17であった。

年齢別では、1歳（85人）、2歳（57人）、3歳（38人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（11.38）、鹿屋保健所（9.20）、指宿保健所（9.00）の順に多い。

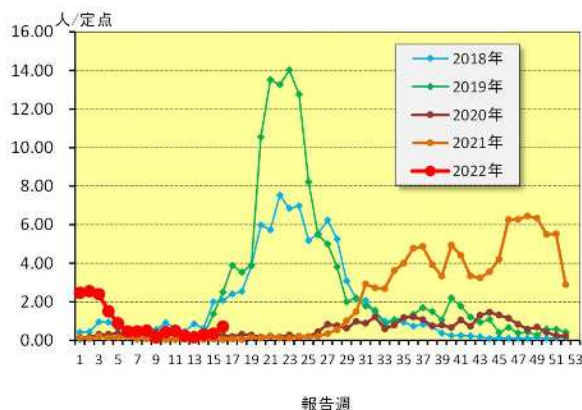


(2) 手足口病

第16週の手足口病の報告数は38人で、前週より20人多く、定点当たりの報告数は0.72であった。

年齢別では、2歳（19人）、1歳（9人）、6～11ヶ月（6人）であった。

保健所別の定点当たり報告数は、指宿保健所、加世田保健所（それぞれ2.00）、鹿児島市保健所（1.62）、出水保健所（1.00）の順に多い。

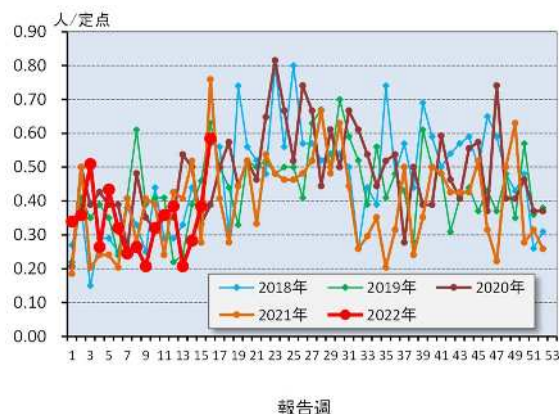


(3) 突発性発しん

第16週の突発性発しんの報告数は31人で、前週より11人多く、定点当たりの報告数は0.58であった。

年齢別では、1歳（20人）、6～11ヶ月（6人）、2歳（2人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（1.38）、加世田保健所、出水保健所（それぞれ0.67）、鹿屋保健所（0.60）の順に多い。



【新型コロナウイルス感染症関連情報】

～ゴールデンウィークを迎えるに際しての新型コロナウイルス感染防止対策～

県内の新型コロナウイルス感染症の新規の感染者数は増加傾向にあります。

特に、10歳代以下の子どもたちやその親世代となる30歳から40歳代の感染が多く見られます。このまま新規感染者数の増加傾向が継続すると、高齢者への感染拡大も懸念され、重症者の増加や更なる医療提供体制の逼迫も懸念される状況です。基本的な感染防止の徹底に加え、下記のことにご留意してください。

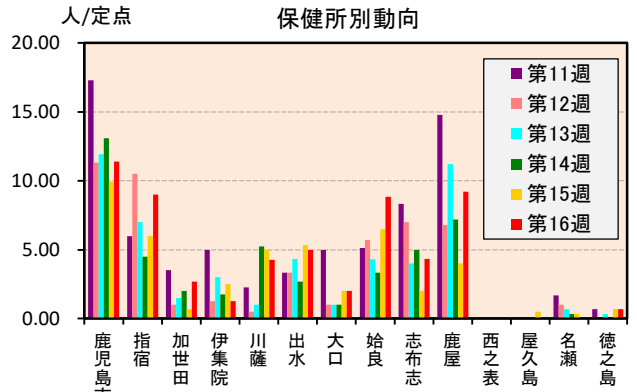
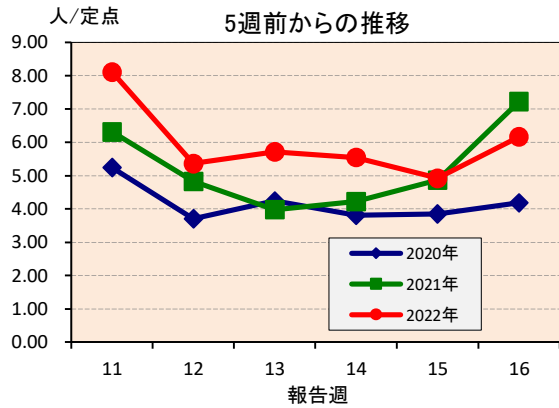
- ・ マスク会食の徹底
- ・ 第三者認証店の利用
- ・ 業種別のガイドライン遵守
- ・ PCR検査の活用
- ・ ワクチン接種（3回目）の促進

これから大型連休を迎えます。旅行やイベントの開催などにより、人の移動が活発化し、人と人の接触機会も増えることから、連休後に感染がさらに拡大されることも懸念されます。

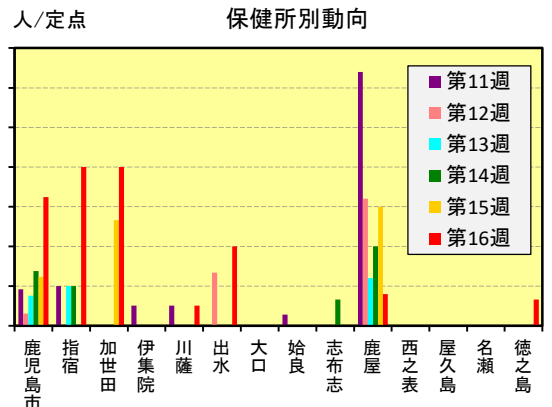
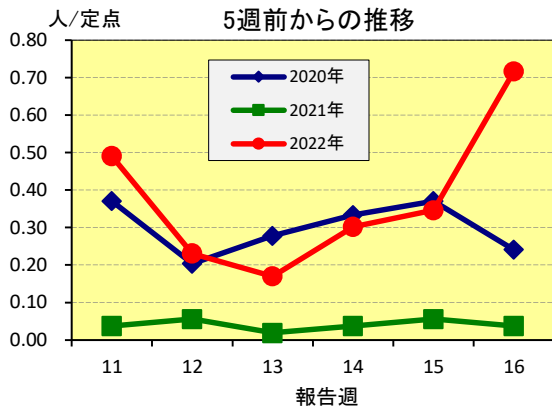
皆様方の感染防止対策が、ご自身はもとより、ご家族や友人、また、地域を守り、連休後の感染急拡大を防ぐことに繋がります。

上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

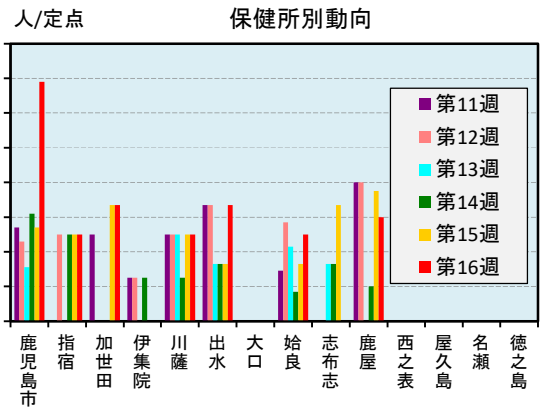
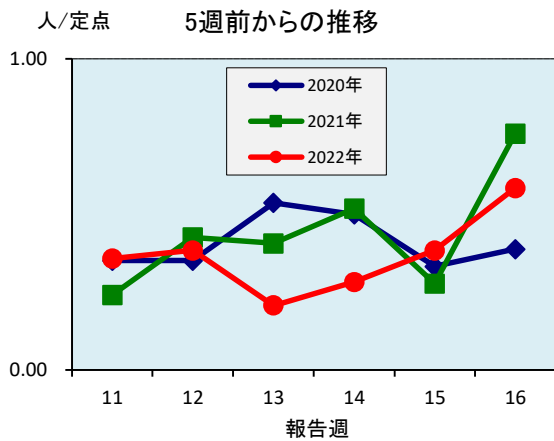
(1) 感染性胃腸炎



(2) 手足口病

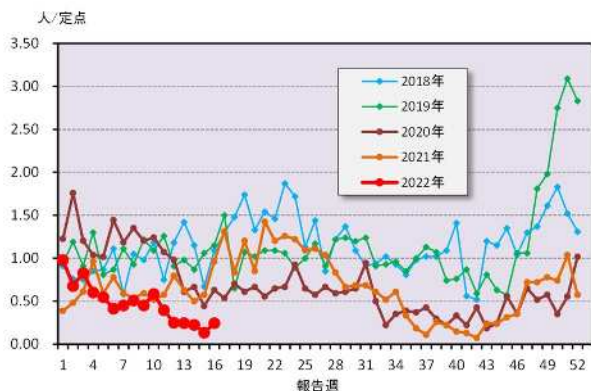


(3) 突発性発しん

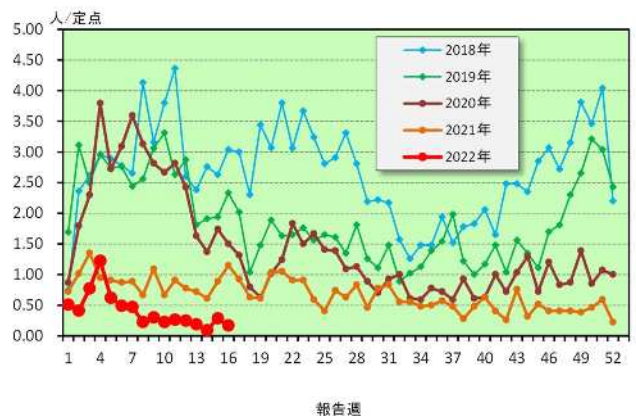


☆注目される感染症の発生状況

★ 咽頭結膜熱 (鹿児島県)



★ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (鹿児島県)



☆定点報告疾患の発生状況

2022年	(報告週)	第16週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2022年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	-	-	11
小児科定点	○ 咽頭結膜熱	13	0.25	400
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.17	345
	○ 感染性胃腸炎	327	6.17	6,369
	○ 水痘	9	0.17	90
	○ 手足口病	38	0.72	747
	伝染性紅斑	-	-	12
	○ 突発性発しん	31	0.58	289
	ヘルパンギーナ	2	0.04	72
	流行性耳下腺炎	2	0.04	30
	RSウイルス感染症	1	0.02	676
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	-
	流行性角結膜炎	1	0.14	46
基幹定点	○ 細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	1	0.08	2
	○ 無菌性髄膜炎	1	0.08	4
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	2
報告数合計		435	0	9,095

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

		5週前 (2022年11週)	4週前 (2022年12週)	3週前 (2022年13週)	2週前 (2022年14週)	1週前 (2022年15週)	今週 (2022年16週)
インフルエンザ	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告数	22	3	1	4	4	1
	定点当り	0.42	0.06	0.02	0.08	0.08	0.02
咽頭結膜熱	報告数	21	13	13	12	7	13
	定点当り	0.40	0.25	0.25	0.23	0.13	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	14	13	10	5	15	9
	定点当り	0.26	0.25	0.19	0.09	0.29	0.17
感染性胃腸炎	報告数	430	279	303	294	256	327
	定点当り	8.11	5.37	5.72	5.55	4.92	6.17
水痘	報告数	11	3	4	7	7	9
	定点当り	0.21	0.06	0.08	0.13	0.13	0.17
手足口病	報告数	26	12	9	16	18	38
	定点当り	0.49	0.23	0.17	0.30	0.35	0.72
伝染性紅斑	報告数	-	1	-	2	2	-
	定点当り	-	0.02	-	0.04	0.04	-
突発性発しん	報告数	19	20	11	15	20	31
	定点当り	0.36	0.38	0.21	0.28	0.38	0.58
ヘルパンギーナ	報告数	1	3	2	-	7	2
	定点当り	0.02	0.06	0.04	-	0.13	0.04
流行性耳下腺炎	報告数	3	1	2	1	2	2
	定点当り	0.06	0.02	0.04	0.02	0.04	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	11	8	6	4	3	1
	定点当り	1.57	1.14	0.86	0.57	0.43	0.14
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	1
	定点当り	-	-	-	-	-	0.08
無菌性髄膜炎	報告数	1	-	-	-	-	1
	定点当り	0.08	-	-	-	-	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2022年16週(04月18日～04月24日)

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	0	0.00	1	0.02	13	0.25	9	0.17	327	6.17	9	0.17	38	0.72	0	0.00	31	0.58
鹿児島市	-	-	1	0.08	2	0.15	3	0.23	148	11.38	4	0.31	21	1.62	-	-	18	1.38
指宿	-	-	-	-	-	-	-	-	18	9.00	-	-	4	2.00	-	-	1	0.50
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	8	2.67	-	-	6	2.00	-	-	2	0.67
伊集院	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	3	0.75	1	0.25	17	4.25	2	0.50	1	0.25	-	-	2	0.50
出水	-	-	-	-	1	0.33	-	-	15	5.00	2	0.67	3	1.00	-	-	2	0.67
大口	-	-	-	-	-	-	1	1.00	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	1	0.17	2	0.33	53	8.83	1	0.17	-	-	-	-	3	0.50
志布志	-	-	-	-	-	-	1	0.33	13	4.33	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	6	1.20	-	-	46	9.20	-	-	2	0.40	-	-	3	0.60
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	-	-	1	0.33	-	-	-	-

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム鳥は除く)		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2	0.04	2	0.04	0	0.00	1	0.14	1	0.08	1	0.08	0	0.00	0	0.00	0	0.00
鹿児島市	1	0.08	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
指宿	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	1	0.17	-	-	1	1.00	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-

年齢階級別疾病別患者報告数及び定点当たり報告数（男女合計）
 2022年16週(04月18日～04月24日)

年齢階級別疾病別患者報告数及び定点当たり報告数（男女合計）	報告数 定点当り	2022年16週(04月18日～04月24日)																				
		～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	
(インフルエンザ) 定点報告数(疾病)	報告数 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ	報告数 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(小児科) 定点報告数(疾病)	報告数 定点当り	1	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～							
RSウイルス感染症	報告数 定点当り	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告数 定点当り	13	1	10	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 定点当り	0.25	0.02	0.19	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	報告数 定点当り	9	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
水痘	報告数 定点当り	0.17	0.02	0.02	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
手足口病	報告数 定点当り	327	1	26	85	57	38	18	23	17	8	11	5	17	2	19	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告数 定点当り	6.17	0.02	0.49	1.60	1.08	0.72	0.34	0.43	0.32	0.15	0.21	0.09	0.32	0.04	0.36	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	報告数 定点当り	9	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ヘルパンギーナ	報告数 定点当り	0.17	0.04	0.04	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告数 定点当り	38	6	9	19	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(眼科) 定点報告数(疾病)	報告数 定点当り	0.72	0.11	0.17	0.36	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告数 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数 定点当り	31	1	6	20	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
(基幹) 定点報告数(疾病)	報告数 定点当り	0.58	0.02	0.11	0.38	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数 定点当り	2	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
無菌性髄膜炎	報告数 定点当り	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
マイコプラズマ肺炎	報告数 定点当り	2	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数 定点当り	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 定点当り	2	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
急性出血性結膜炎	報告数 定点当り	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
流行性角結膜炎	報告数 定点当り	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
(基幹) 定点報告数(疾病)	報告数 定点当り	0.14	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数 定点当り	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
無菌性髄膜炎	報告数 定点当り	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数 定点当り	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数 定点当り	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 定点当り	0.14	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
急性出血性結膜炎	報告数 定点当り	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
流行性角結膜炎	報告数 定点当り	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
(基幹) 定点報告数(疾病)	報告数 定点当り	0.14	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数 定点当り	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
無菌性髄膜炎	報告数 定点当り	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数 定点当り	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数 定点当り	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 定点当り	0.14	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08